

箕面の森アートウォーク

りゅうあんじ



瀧安寺 プロジェクト

Ryuanji Project

秋の特別拝観

日本最古の弁財天 宝くじ発祥の地

箕面山 瀧安寺

客殿・鳳凰閣・枯山水

(国登録有形文化財)

2025. 11/15(土)~30(日)

会場 / 箕面山 瀧安寺

●特別拝観: 10:30~16:00 (入場は15:30まで)

休催日: 11/17(月)、25(火)

(箕面の森アートウォーク、秋の特別拝観共にお休み致します)

この秋、瀧安寺を舞台に繰り広げるアートとパフォーマンス
This autumn, we will stage an exhibition of art works and performances at Ryuanji Temple

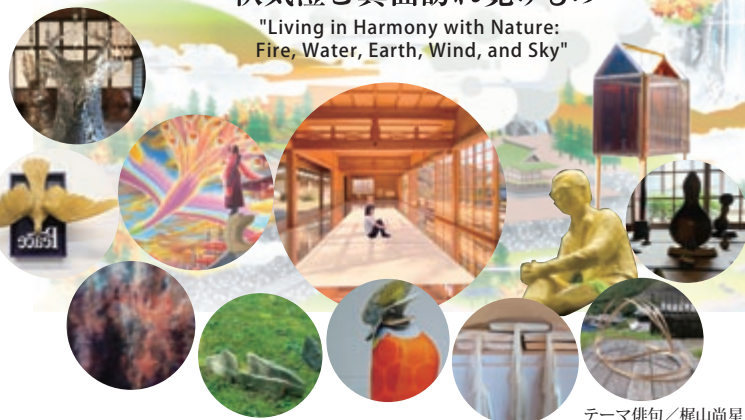
革新



自然との共生

秋気澄む箕面訪れ覚ゆもの

"Living in Harmony with Nature:
Fire, Water, Earth, Wind, and Sky"



テーマ俳句 / 梶山尚星

弁財天物語 ~創作朗読とヴァイオリン演奏

吉岡邑玲 <客殿> (要拝観料 / 先着順)

11/15(土)・19(水) 13:00~/15:00~

11月15日(土)は民舞が添えられます。

民舞 兒子美裕

白い光3 ~ダンスパフォーマンス

佐久間新 <観音堂前>

11/27(木) 13:00~

音楽パフォーマンス

形なき存在・Formless Being

Mystic Trio <妙音天横>

11/30(日) 13:30~/15:00~

* 荒天時変更になる場合があります。

会場: 箕面山 瀧安寺

主催: 箕面の森アートウォーク実行委員会

プロデュース: コンテンポラリーアートギャラリー ~~zone~~ (中谷徹、中谷雅代)

協力: 箕面山 瀧安寺

後援: 箕面市、箕面市教育委員会、箕面市観光協会、箕面商工会議所

公益財団法人メイプル文化財団、箕面 FM まちそで株式会社

助成: 小森文化科学財団



別のここには
流れる時間は
流れているが

ゆったりと流れる空間に、貴重な芸術品の数々。
紅葉する箕面山の絶景とあわせてご堪能ください。

百畳にわたる大空間の客殿には、
皇室ご来訪のための玉座や貴重な襷絵の数々が並んでおり、
宝くじの起源「富くじ」で使用していた富箱などを展示しております。
鳳凰閣には修験道の開祖、役行者の姿画をお披露目し、
箕面滝や龍神を模した枯山水と併せて特別公開いたします。

伝統



鳳凰閣と客殿

拝観料: 一般...500円 / 小中高生...300円 (小学生未満は無料)

※ 団体割引、障害者割引はございません。

※ 荒天時の鳳凰閣の内覧はできません。(客殿は可)

< 拝観料は台風被害の修繕費用に充てさせていただきます。 >



- ・境内及び建造物は国有有形文化財のため、特段のバリアフリー対策はございません。
- ・手指消毒等、感染症対策に協力下さい。
- ・電話でのお問い合わせは対応していません。

詳しくは
2ページをご覧ください。

アクセス 阪急箕面駅より北へ滝道を徒歩約 15 分

<https://www.ryuanji.org>

滝道は一般車両進入禁止です。お車でお越しの方は市営駐車場をご利用ください。

*最新情報はHP、Facebook等でご確認ください。

公式ホームページ

コンテンポラリーアートギャラリーZone HPより

<http://www.artgallery-zone.com>



りゅうあんじ
瀧安寺
プロジェクト

瀧安寺を舞台に

箕面山の自然・歴史・文化をテーマとした
アート作品の展示とパフォーマンス

This autumn, we will stage an exhibition of art works and performances at Ryuanji Temple, themed around the natural environment, history, and culture of Mt. Minoh. We look forward to sharing the experience and excitement with all our visitors.



秋気澄む箕面訪れ覚ゆもの テーマ俳句／梶山尚星

<テーマ・コンセプト> **“自然との共生 —火・水・土・風・空—”**
"Living in Harmony with Nature: Fire, Water, Earth, Wind, and Sky"

会場は、**霊山箕面**（明治の森箕面国定公園）のかつての寺領主であり、その中腹に位置する瀧安寺である。

瀧安寺の開基は658年、修験道の開祖である役行者が箕面滝で修行中、
弁財天の導きを受けて悟り、報恩感謝のもと箕面寺を建立したのが始まりである。

修験道は、縄文時代から日本人が抱いてきた山を聖域と見なす宗教観（山岳信仰・古神道・自然崇拜）を、
役行者が密教や道教と習合したものである。

この多神教的宗教観は、長い歴史の中で自然との親和的な一体感を抱く今日の日本人の精神的土壌を創り上げた。

1400年の時を経て、役行者が開かれた霊山箕面で、
今を生きるアーティストが全身全霊で自然に感応し、共生の「美」を見出す。

箕面の森アートウォークについて

箕面は、古くから大滝と紅葉で知られ、年間200万人もの人々が訪れる北摂屈指の観光地です。

アートウォークが開かれる滝道には、1400年もの長い歴史があります。古くは、658年、役行者が大滝のもとで修行をしたと言われています。以来、滝道は人々の往来が頻繁にあり、また、西江寺、瀧安寺など歴史的な建造物もあり、もはや箕面はまったくの原生的自然ではなくなっています。人間の営為が加わった自然なのです。つまり、文化的、歴史的な意味を担った自然（二次的自然）と言えます。

そうした長い歴史に支えられた、人間と自然の豊かな関係において拓かれた滝道に美術作品を設置することは、美術の視点においても、観光の視点においても意義のあることです。

本イベントでは、関西を中心に活躍している現代アーティストを招待し、箕面の自然・歴史的建造物・史話・施設などをテーマにしたサイトスペシフィックなアート作品を、箕面駅から大滝に至る滝道沿いやその周辺の施設や店舗などに設置し、サイトスペシフィックなパフォーマンスも企画してきました。

サイトスペシフィックアートは、文字通り設置される環境や文化、歴史そしてそこに住む地域の人々の生活を反映した作品を指します。その地域の人々の生活に密着し、現代アートの仕掛けによって来訪者（観光客・観客）が箕面の歴史、文化（風土）とかかわり、風景の再発見に繋がる、そういったアートイベントを企画しています。

今回は会場を瀧安寺に集約させ、よりサイトスペシフィックなアート展示とパフォーマンスが期待されます。

今年の秋、箕面の森アートウォークの新しい歴史がスタートします。

瀧安寺秋の特別拝観と併せての開催期間になります。

特別拝観（要拝観料） 主催／箕面山 瀧安寺

拝観受付は山門左側の寺務所にて
拝観料金： 一般 500円 / 小中高生 300円（小学生未満は無料）

※ 団体割引、障害者割引はございません。
※ 拝観料は台風被害の修繕費用に充てさせていただきます。

< 荒天時は鳳凰閣の内覧はできません。（客殿は可） >

- ・飲食、喫煙、一脚三脚及び自撮り棒の使用（撮影は可）、ペット同伴は禁止いたします。
- ・飲酒状態での拝観は固くお断りします。
- ・暴風、大雨、洪水警報が発令された場合、拝観は休止いたします。
- ・境内及び建造物は国有有形文化財のため、特段のバリアフリー対策はございません。
- ・客殿及び鳳凰閣は畳間のため、車椅子での入室は出来ません。
- ・客殿内のお手洗いは多機能トイレではございません。
- ・滝道は車両通行禁止のため、徒歩にてご来山下さい。<お電話での応対はお受けできません>

りゅうあんじ 箕面山 瀧安寺について

役行者、開山とされる本山修験宗の寺院。山岳信仰修験道の根本道場で、全国から修験者が集る。本尊は我国の最初にして最古と伝えられる弁財天で、財運の向上、芸能の上達を願い、一方、観音堂の主尊である如意輪観音には除災招福を求め年間を通じ参拝者で賑わう。

境内には本堂である弁天堂（1656年に後水尾天皇により寄進、神殿と拝殿から成る神社形式）、京都御所から移築された山門、如意輪観音像（重要文化財）を祀る観音堂等があり、特別拝観エリアには関西建築界の父と言われる、武田五一建築の鳳凰閣（国登録有形文化財）、客殿、枯山水等がある。

また宝くじの起源である富籤（箕面富）発祥の地で、名称・形を変え、お守りを配る形で古式に則った富籤を2009年に復活させた。

「コトバノクニ モジノセカイ イキルコトバ」 ①

大西 治 + 大西 雅子

OHNISHI Osamu & OHNISHI Masako

「鹿」「兎」「鼬」を主人公とする森を舞台とした3つの物語を文字ごとに分割し造形物として組み替えていく試み。箕面の自然が繊りなす景色の中で物語は紅葉する落ち葉のように地面に舞い降り、そして造形物として新たな息吹を放つのだ。

神戸ビエンナーレ2015 入賞作家展で発表

素材:アルミ、真鍮、銅



大西 治・大西 雅子 ともに大阪府生

2007 大西 治・大西 雅子の連名で作品発表を始める。

2009 越後妻有アートトリエンナーレ大地の芸術祭

2010 あいちトリエンナーレ 2010 長者町企画コンペ入選

2011 神戸ビエンナーレ しつらいアート国際コンペ 奨励賞

2012 越後妻有アートトリエンナーレ大地の芸術祭

2012 水と土の芸術祭

2015 神戸ビエンナーレ 入賞作家展

2017 朝来アートコンペティション 奨励賞

2019 Sculpture by the sea, Cottesloe 展/Bondi 展

2019 朝来アートコンペティション 大賞

2022 Sculpture by the sea, Cottesloe 展 Artist Award(大賞)

2022 The Snowy Valleys Sculpture Trail (オーストラリア) 恒久設置

2023 Sculpture by the sea, Cottesloe 展/Bondi 展

2024 Sculpture by the sea, Cottesloe 展/Bondi 展

2024 第30回 UBE ビエンナーレ 山口県立美術館賞

ヴォワイヤン・プロジェクト

Voyant Project

「山門のヴォワイヤン」 ⑫

後見人 今井 祝雄 IMAI Norio

フランス語で「見る人」とおり、「見られる像」でなく、それ自体が何かを「見る像」であるヴォワイヤンは、これまで箕面の森アートウォークで観客とともに往来したり、沿道の各店舗に日替わりで迎えたり、屋根の上に座るほか前回は大滝を眺めていました。

私はこの催の狂言回しというべきヴォワイヤンの作者ならぬ後見人なのかもしれません。

今回は瀧安寺の山門の近くで参拝者と観客を迎えます。



素材:強化プラスチック(F.R.P.) Reinforced plastic, paint
幅50cm・奥行90cm・高さ130cm 重さ約9キロ



1946年、大阪に生まれ在住。大阪市立工芸高校在学中から吉原治良に師事し、具体美術協会に参加。

1966年、第10回シェル美術賞一等賞受賞。造形・写真・ビデオによる作品制作、内外の展覧会に出品多数。著書に〈白からはじまる〉(ブレンセンター)、〈余白とフレーム〉(水声社)ほか芦屋市立美術館における「今井祝雄 一長い未来をひきつれて」の作品集(水声社/2024年)など。

PHOTO SPOT ヴォワイヤンと写真を撮ろう!

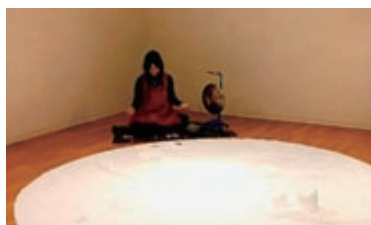
ハッシュタグを付けて SNS に投稿してください。
#箕面の森アートウォーク 2025

「空の在り処 ～Elpis VIII～」 ②

南遊 MINAMI Yutaro

このお話を頂いた時に見えたヴィジョン・・・それを素直に作品にしよう。余計なものは削ぎ落とし、普遍的な在り方を求めて。

火水土風 そして空 —— 自らにも内包するであろうこれらのエレメントを、手練り寄せたり反芻させたりしながら静謐な空間に醸し出していこう。また弁財天の池に漂う空気とのコラボレーションでは、ある種の鏡も加えて音と共に新たな景色を湧出させたい。偶然居合わせた人との呼吸やまなざしも、刻々と移ろいゆく光、カイロスも、今ここに立つ存在として、その中心と自然界との無意識の繋がりも etc. ..



約 11 年間の休止期間を経て、2021 年より制作活動を再開。新たなテーマ「Elpis」(古代ギリシャ語で「予兆」の意)をベースにインスタレーションを、また石そのものを作品化することに取り組んでいる。

< 個展 > (主に塩を使ったインスタレーション・オブジェ)

2021 「Elpis」 楓ギャラリー / 大阪

* 音と作品とのコラボレーション(Christopher Fryman)

2022 「△▽ Elpis ▽△」 不二画廊 / 堺筋本町

* 音と作品とのコラボレーション(はくさんまさたか/Christopher Fryman)

2023 「Elpis V～Marks～」 楓ギャラリー / 大阪

* 音と動き・作品とのコラボレーション(荒木董・はくさんまさたか)

* 音と作品とのコラボレーション(Mystic Trio)

2024 「Elpis VI～PUPA～」 不二画廊 / 堺筋本町 (PUPA = サナギ)

* 音と動き・作品とのコラボレーション(栗棟 一恵子・はくさんまさたか)

* 音と作品とのコラボレーション(Mystic Trio)

2025 「Elpis IX～Sleeping Water Vein～」 楓ギャラリー / 大阪

* 音と動き・作品とのコラボレーション(栗棟 一恵子・Mystic Trio)

< グループ展 他 >

2022 「承風展」 画廊ぶらんしゅ / 大阪

「レアなお届けもの展」 不二画廊 / 堺筋本町

2023 「final wks. 祭 立体展」 Gallery wks. / 大阪

「令和のあかり展」 不二画廊 / 堺筋本町 他

2024 「KE.CO.8」 不二画廊 / 堺筋本町

2025 「承風展」 画廊ぶらんしゅ / 大阪

「2025 Shoebox Art 巡回展」 ギャラリー黎 begin / 楓ギャラリー

< パフォーマンス・コラボレーション 等 >

1990 年代～玉城 正紀氏と(キリンプラザ、神戸シーベックホール、

扇町ミュージアムスクエア、ギャラリーいろはに他)

また、はくさんまさたか氏や Christopher Fryman 氏とコラボレーション。Mystic Trio としても活動。

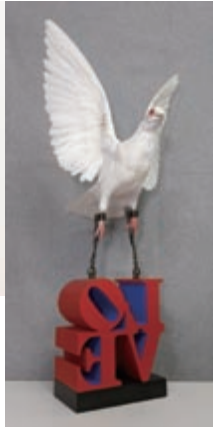
「LIFE & PEACE / LOVE & PEACE / PEACE & PEACE」 3

岡本光博 OKAMOTO Mitsuhiro

鳥の剥製を用い、自然との共生を含めた現代社会を考察した3作品を、空を飛んだという伝説が残る役小角が建立した箕面寺で展示する。また弾圧され流罪になった役小角をその鳥に見立ててみる。



FG#598 LIFE & PEACE
2023
素材:剥製「土鳩」、鳩除け、LED、キャンバスにアクリル
529×491×210mm (アクリルケース含む)

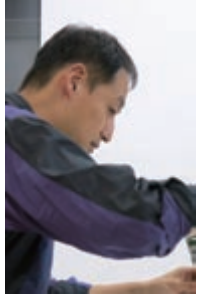


r#309 LOVE & PEACE
2023
素材:剥製「鳩」「LOVEandPEACE」
オブジェ、足枷、チェーン
Stuffed pigeon, "LOVEandPEACE"
object, shackles, chain
340×310×690 mm
専用台座:200×200×1100mm



FG#599 PEACE & PEACE
2023
素材:金色に染めた剥製「鳩」、
ピースたばこ、LED、樹脂
Gold-dyed stuffed "dove", "piece"
tobacco, LED, resin
500×410×300mm

- 2025 個展「イメージを突き返す」 つなぎ美術館 (熊本)
- 2025 「アーツさいたま・きたまちフェスタ ASK-Vol.12」 (埼玉)
- 2024 「越後妻有 大地の芸術祭 2024-どうぶつ達の息吹と再生」
- 2024 「スイカ美術」HRD FINE ART (京都)
- 2023 個展「ラブアンドピース」eitoeiko (東京)
- 2023 「箕面の森アートウォーク 2023」 滝前ギャラリー (大阪)
- 2022 「CART-SAITAMA 2022」さいたま市大宮周辺
- 2022 「Prism 2022」コンテンポラリーアートギャラリー Zone (大阪)
- 2022 「gallerism 2022」 PIAS GALLERY (大阪)
- 2022 「縫い合わせる」ギャラリーギャラリー (京都)
- 2020 「天覧美術」 KUNST ARZT (京都)・eitoeiko (東京)
- 2020 「箕面の森アートウォーク 2020」 滝前ギャラリー (大阪)
- 2019 「あいちトリエンナーレ 2019」 <表現の不自由・その後>
- 2019 「美少女の美術史」MoNTUE 北師美術館 (台湾)
- 2019 「セレブレーション-日本ポーランド現代美術展」(ポーランド)
- 2017 「ART ZUID 2017」 Art Chapel (オランダ)
- 2017 「箕面の森アートウォーク 2017」 滝前ギャラリー (大阪)



「ひょうたんオブジェ」 4

栗本 夏樹 KURIMOTO Natsuki

ひょうたんを人間が利用し始めたのは約1万年前であると読んだ事があります。ひょうたんに飲み水を保管できるようになって人間の長距離移動が可能になったとも書かれていました。私が好んで使用する漆も約1万年前から日本で使用されていた事が判っています。修験道に関わりの深い箕面山の瀧安寺で自然と人間の関係について想いを馳せたいと思います。



素材:ひょうたんと石に漆塗り

- 1994 小清水漸・栗本夏樹展「現代の造形・かたちという」(西宮市大谷記念美術館, 兵庫)
- Japanese Design 展(フィラデルフィア美術館, U.S.A.)
- 1995 日本の現代工芸-伝統と前衛-展(ヴィクトリア&アルバート美術館, U.K.)
- 1996 現代美術の展望 VOCA 展 '96 (上野の森美術館, 東京)
- 2001 VISION 展(豊田市美術館, 愛知)
- 2006 The International Asian Art Fair 2006 (アーモリーホール, ニューヨーク, U.S.A.)
- 2009 SOFA CHICAGO (Navy Pier Festival Hall, シカゴ, U.S.A.)
- 2009 SOFA NEW YORK (アーモリーホール, ニューヨーク, U.S.A.)
- 2011 PLAY/PRAY あそぶ美術, おもう美術(豊田市美術館, 愛知)
- 2016 革新の工芸「伝統と前衛」そして現代(東京国立近代美術館工芸館)
- 2017 HARD BODIES(ミネアポリス美術館, U.S.A.)
- 2018 CONTEMPORARY LACQUER FROM JAPAN (ESH Gallery, ミラノ, Italy)
- 2019 東京国立近代美術館工芸館名品展-漆・木・竹工芸のみかた- (石川県立美術館)
- 2020 ひろがる美術館ヒストリー (西宮市大谷記念美術館)
- 2021 かめおか霧の芸術祭・霧の芸術館 (大本みろく会館, 京都)
- 2022 アジア漆の造形と祈り(東京藝術大学美術館, 東京)



- <パブリックコレクション>
 ヴィクトリア&アルバート美術館 豊田市美術館
 福建省拓福美術館 ポストン美術館
 ミネアポリス美術館 フィラデルフィア美術館
 東京国立近代美術館 大分県立美術館
 西宮市大谷記念美術館 京都市立芸術大学芸術資料館
 京都市セラ美術館 京都府

「Grace Loci - 土地の恵み」 5

柴田 知佳子 SHIBATA Chikako

若い頃歩いた滝道。子供と一緒に歩いた滝道。その時々でいろんなものが見えてくる不思議。それは、岩についた苔であり、綺麗な紅葉であり、高く立ち並ぶ木々であり、滝水の匂いであり、歯抜けの子供の笑顔であり、多層的。佇まいと記憶。この箕面の森を自分のフィルターを通して絵画にしたいと思います。



素材:顔料、アクリル絵具、綿布、他

- 1968 大阪市生まれ
- 1994 神戸大学大学院美術教育研究科 修士課程修了
- 2021 令和2年度 亀高文子記念-赤舄社賞 受賞
- 2017 柴田知佳子展(兵庫県パリ事務所・フランス)
- 2018 Comparaisons 2018, Art Capital - JAPON section(グラン・パレ・フランス) '15'17
- 2019 gallerism 2019(ピアスギャラリー・大阪/京阪 CITY MALL・大阪) '14
- 2020 個展(コバヤシ画廊・東京)
- 2021 FACE 展(SOMPO 美術館・東京)
- 令和2年度 亀高文子記念-赤舄社賞 受賞記念 柴田知佳子展(兵庫県民会館・兵庫)
- 第21回 東美特別展-柴田知佳子展(東京美術倶楽部・東京)
- 2022 柴田知佳子展-Be-(彩鳳堂画廊・東京)
- 美の精鋭たち 2022 vol.6 一十花の毒-(宇フォーラム美術館・東京)
- TAOP "INTUITION" works on paper(モエレ沼公園ガラスのピラミッド・北海道/宝塚市立文化芸術センター キューブホール・兵庫) '21
- 柴田知佳子展(河口湖ミュージアム 与勇館・山梨) ~'23
- ART WEEKS - 柴田知佳子展(大丸神戸店 1階メインステージ・兵庫)
- 2023 美術と風土-伊那谷展(飯田市美術博物館・長野、辰野美術館・長野、豊中市立文化芸術センター・大阪、白沙村荘橋本閣雪記念館・京都、碧南市藤井達吉現代美術館・愛知)
- 開館3周年記念展 オマージュ TAKARAZUKA-春プリマヴェーラ (宝塚市立文化芸術センター・兵庫)
- 小豆島アートプロジェクト-柴田知佳子展(小豆島現代美術館 MOCA HISIO ANNEX・香川)
- 2024 個展(ギャラリー白・大阪) '95'96'97'99'17'18'19'20'21'22'23
- 2025 21世紀関西女性絵画展(兵庫県立美術館ギャラリー棟・兵庫) '22
- Study×PLAS : Asia Art fair (大阪国際会議場グランキューブ大阪)
- 第16回 岩美現代美術展 - 柴田知佳子 (岩美町中央公民館・鳥取) '23
- 柴田知佳子展 Grace Loci - vapor (河野邸・大阪)
- 宝塚現代美術てん・てん (兵庫) '13 ~



「滝の音、言葉の音」⑥

田中 広幸 TANAKA Hiroyuki

人間は常に言葉の中を生きている。言葉から離脱することはできない。今日、ネットなどのテクノロジーは、この人間の属性を戯画的なまでに顕在化させており、私たちは、しばしば言葉が指し示す偏狭な「意味」に追い詰められ苦しんでさえる。

はたしてこれが言葉の元来の性状なのだろうか。言葉とは意味伝達の媒体のようでありながら、本質的には私たちの体温ある器官が発した楽しい「音」であり、私たちがともにあるための魅力的な「リズム」ではなかったのか。

言葉が堅牢な「意味」の楼閣を形作って過剰な力と排他性を帯びてしまう前に、言葉を滝の音のように、音の万華鏡のように楽しめたならどんなに素敵なことだろう。

大滝の前に佇むと、そんな妄想にも似た思いが去来する。



素材:古書

- 2025 アーティストブック gallery Unfold(京都)
- 2024 個展 河野郎(大阪)
- 2024 ギャラリズム ヒアスギャラリー(大阪)
- 2024 Wk38—white noise・white out・white fixing— KUNST ARZT(京都)
- 2024 個展 contemporary art gallery Zone(大阪)
- 2023 箕面の森アートウォーク
- 2022 風の黙示録(田中佐弥・田中広幸) contemporary art gallery Zone(大阪)
- 2021 PRISM contemporary art gallery Zone(大阪)
- 2020 紙のオブジェ gallery Lands End(兵庫)
- 2020 箕面の森アートウォーク
- 2020 The Great Wall gallery16(京都)
- 2019 個展 gallery16(京都)
- 2019 俳句×美術 旧崇徳堂(三重)
- 2018 個展 日本画廊(東京)
- 2017 俳句×美術 入交家住宅(三重)、鳳凰会館、静思館(兵庫)
- 2016 俳句×美術 旧後川小学校、小南亭(兵庫)
- 2015 岐阜おおがきビエンナーレ IAMAS
- 2014 個展 gallery16(京都)
- 2013 田中広幸・古書籍から繰り上げられるコトバと文字の世界 伊丹市立工芸センター
- 2013 夏の思い出、森の夢 ヤマザキマザック美術館(愛知)



「世界を照らす」⑦

浜本 隆司 HAMAMOTO Takashi



「フェニックス」素材:キャンバスにアクリル

古来より鳳凰が現れることは瑞兆(吉兆)と言われてきました
今のこの世界に鳳凰が出現することで
より良きものが世界にもたらされるのではないか
そんな願いを込めて私は鳳凰を描きます
人は自分の住む世界で、ひとり一隅を照らしますが
鳳凰はあまねく世界全体を照らすであろう



- 個展
- 2023 コンテンポラリーアートギャラリー-Zone (箕面)
- 2024 masayoshi suzuki gallery (愛知)
- 2025 心斎橋OPスリースターフリースペース

グループ展

- 2023 TRIO EXHIBITION 「グラン・ファミリー」 (ギャラリー白)
箕面の森アートウォーク2023 (瀧安寺)
かしわら芸術祭2023/TRIO グラン・ファミリー 柏原 (ヤマニシデンキ)
ウォークアブル梅田 (社会実験・阪神百貨店前)
クロマニンゲン展 in OSAKA (コンテンポラリーアートギャラリー-Zone・箕面)
- 2024 茨木現代美術展招待作家展 (おにクル文化・子育て複合施設)
TRIO EXHIBITION 「中瀬」 (ギャラリー白)
大阪御堂筋アート2024 (大阪市役所正面玄関ホール)
三毛乱0 (ミケランジェロ)「動物の謝肉祭」(コンテンポラリーアートギャラリー-Zone・箕面)
クロマニンゲン展 (鹿児島市立美術館)
BEYOND 2024 (コンテンポラリーアートギャラリー-Zone + トライアングル・ギャラリー・箕面)
- 2025 その時大阪心斎橋アメ村ギャラリー・ビュウのタイムカプセルをあげる (モーニング・ギャラリー・京都)
大阪御堂筋アート2025 (本町ガーデンシティ)

「メビウスの空」⑧

山口 良臣 YAMAGUCHI Yoshiomi

帯状の長方形で8の字結びの結び目を作り、長方形の片方の端を180°ひねって他方の端に貼り合わせると、8の字結びのメビウスの輪ができる。帯の表面と裏面は連続して、表裏の区別のできない帯が立体的に交差した閉じた輪となる。

表と裏は、外か内かという空間的な概念と表裏一体であり、表裏の連続した帯に囲まれた空間は内とも外ともつかない曖昧な場となる。空(から)であり空(くう)。



8の字結び figure eight knot

作品模型写真 素材:竹、その他



1950年生まれ
1980年頃よりビデオ・アート作品の発表を始める。
日本国際美術展 /1984、ヨーロッパ・メディア・フェスティバル /1989、モンペリアル国際ビデオ・フェスティバル /1990、ベルリン・フィルム・フェスティバル /1990、91、オルフス国際ビデオ・フェスティバル /1990、91 等に出品。また、1980年代末頃よりインスタレーション作品の発表を続けている。近年は俳人とのコラボレーションを含め、俳句を手掛かりとした造形に注力している。芸術祭典・京 /2000、つやま芸術祭 /02、代官山インスタレーション'03、'05、大阪・アート・カレイドスコープ2007、おおさかカンヴァス2011、俳句 × 美術 in 篠山2016、'17、俳句 × 美術 /伊賀上野 /2017、'19、箕面の森アートウォーク 2020、2023 等に出品。

「Seeds -Cycle of birth-」 ⑨

一色 智登世 ISSHIKI Chitose

陶を素材にインスタレーションや展示空間で「SEED-種、はじまりのかたち」というコンセプトをイメージ展開している。東日本大震災を契機にはじめたシリーズで、ポジティブな願いをこめて表現している。

物事のはじまりを表現する時にも使われる“種”命のはじまりの種、事柄現象、エネルギー、そのはじまりのかたちを種の形をもって表現。

龍神は水を司り、
その清らかな流れが大地を潤す。
水を受けて、植物は芽吹き、伸び、命を紡ぐ。

龍神と自然
命がめぐるひとつの環

“Seed -はじまりのかたち-”
その名のとおり、すべての始まりがここにある。
そして終わりではなく、また新たな始まりへと還る。
命の循環、その象徴がここに息づいている。

素材：陶



- 2024 大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ (新潟) 陶芸の提案 (ギャラリー白・大阪) '09~'24
- 2023 Melodic Landscapes -情景を重ねて- (JILLD'ART GALLERY・愛知) 個展 (GALLERY&SPACE DELLA-PACE・兵庫) '21.'17.'16.'15
- 2022 Emotionalism (REAL Style HOME名古屋・愛知) HIGHLIGHT 2022 Winter (REAL Style 青山・東京) 陶と画とSoil and Soul (ギャラリーモーニング・京都)
- 2021 Dance, Dance, Dance, and Dance (JILLD'ART GALLERY・愛知)
- 2019 個展 (ギャラリー白・大阪) '12.'09 gallerism2019 (ピアスギャラリー・大阪) 春色展 (JILLD'ART GALLERY・愛知)
- 2018 個展 (Galeria Punt・兵庫) '11.'13 PRISM 2018 (コンテンポラリーアートギャラリーZone・大阪)
- 2017 眞面の森アートウォーク2017 (大阪)
- 2016 アートプログラムin鶴林寺 施美時間 (兵庫) '13
- 2015 世界とつながる本当の方法 (岐阜県陶芸美術館・岐阜)

「うつし・よ」 ⑩

郡 裕美 KORI Yumi

箕面山瀧安寺鳳凰閣の広間を池に見立て、その真ん中に「浮き島」を作るインスタレーション作品。「平等院の鳳凰堂の気分」を表したとされる鳳凰閣の中で、来場者はかつての平安貴族が思い描いた西方浄土に想いを馳せながら、しばし幻の時を過ごす。水面に映る世界は、極楽浄土かそれとも現実世界か？ 空、光、風、箕面の自然は、何を伝えてくれるだろう？

瀧安寺鳳凰閣は、大正時代に著名な建築家武田五一によって設計された国の有形文化財。

*平等院の鳳凰堂は平安時代に建てられた国宝で、建物を囲む池の水面に鳳凰堂が映り込むことで、西方極楽浄土の世界を現世に再現する表現だと言われている。



瀧安寺鳳凰閣



作品イメージ：瀧安寺鳳凰閣の内部で、幻想的な空間体験をする。

「EVOCATION 2025」 ⑪ 郡 裕美 KORI Yumi

2018年の台風で失われた瀧安寺の庫裡(寺の台所)の記憶をカタチにした作品 Evocationは、2年前の箕面アートウォークで制作され、現在も境内に残っている。来場者は、餅のような白い玉石をひとつ手に取り、かまどの跡に建てられた櫓まで運ぶ。かつてそこで人々が受けた食の返礼を行うことで、施しの心が世界に広がっていくことを願い、庫裡の再建を祈願する参加型のアートとして甦る。



作品イメージ：失われた建築、庫裡の台所の上部にあった越屋根(煙抜き)の記憶を想起する。



経歴

- 1994 コロンビア大学建築学部修士課程終了
- 1996-2005 コロンビア大学建築学科准助教授
- 2015-2025 大阪工業大学空間デザイン学科教授
- 受賞
- 2012 アルカシア ゴールドメダル(ARCASIA);アジア建築家評議会
- 2014 JIA 環境建築賞：日本建築家協会
- 2015 建築学会賞(業績)：日本建築学会

作品歴

- 2002 Machina Temporis、クロスター教会廃墟 ベルリン
- 2002 Green Library、武蔵野市立旧中央図書館 東京都武蔵野市
- 2003 Panta rhei、メゾンエルメス8階フォーラム
- 2007 Shinkai、ジャパンソサエティ、ニューヨーク
- 2008 Another Sky、バヒア近代美術館 MAM、サルバドール、ブラジル
- 2008 kanata、マットレスファクトリー美術館、ピッツバーグ、アメリカ
- 2014 Flight、クイーンズ美術館、ニューヨーク
- 2015 Haruka、クリチバビエンナーレオスカーニューマイヤー美術館、ブラジル
- 2021 TSUMUG、富士テキスタイルウィーク、富士吉田、山梨
- 2021 壁の向こうへ、日本橋の家、大阪
- 2023 Border、Plus 1 Art、大阪
- 2024 夏夢、ギャラリー祇園小西、京都

「弁財天物語 創作朗読とヴァイオリン演奏」¹³
吉岡 邑玲 YOSHIOKA Yuri

開催日時: 11/15(土)・19(水) 13:00~/15:00~ (2回)
11月15日(土)は民舞(児子 美裕)が添えられます。



その昔役行者が修業し、弁財天の導きを受けて開山したと伝わる霊山箕面山。

報恩感謝のもと役行者自ら弁財天の像を作製し、滝の側に祭祀して箕面寺を建立したのが瀧安寺の起源となった。日本最古である弁財天に見守られながら悠久の時を刻んできた御山は、人々の祈りとともにも今も私たちを静かに導く。

前回の「役行者物語」に続いて今年も「弁財天物語」を創作・作曲して自身で朗読・ヴァイオリン演奏し、数多の精霊と自然に繋がっていく。



吉岡 邑玲 YOSHIOKA Yuri

大阪大学文学部美学科音楽学卒業。文学士。府立北野高校時代にオーケストラ活動を始め、コンサートマスターを歴任。ソロや室内楽、オーケストラなど奏者、また指導者として幅広く活動している。

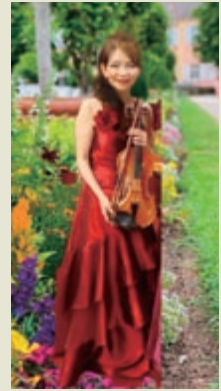
ミラノ・スカラ座、ベルリン・フィルホルン奏者のアレッシオ・アレグリーニ、チェコのチェリスト プラダン・コチ氏ら海外のアーティストの薫陶を受ける。和楽器や踊り、民族楽器とのコラボレーションやエレクトリック・ヴァイオリンを使った演奏などジャンルを問わず音楽活動を展開中。

箕面大滝復活祭で大滝前での記念演奏、箕面文化芸術劇場でのこけら落とし公演、箕面瀧安寺での演奏・朗読など地元箕面でも多様な活動をしている。一方FM802アナウンサーを経てコンサート・セミナー・パーティー等の司会、インタビュー、朗読、話し方の講師など声を使った活動も並行して継続中。

「司会と演奏」、「朗読と演奏」など、二刀流をこなしながら多様なアートが繋がり響き合うことを志向している。

児子 美裕 NIGO Miyuu (民舞胡蝶)

自然と共に生きる喜びを踊りで伝えます。



「白い光3」¹⁴ 佐久間新 SAKUMA Shin

開催日時: 11/27(木) 13:00~



2015年の白い光、2017年の白い光2の続編として白い光3を行います。

生駒山で白い光=箕面の大滝を見た役行者のエピソードと、大阪と全国を結んで米相場を伝達した旗振り通信の中継点があったことからインスピレーションを得て、このシリーズは開始した。1では、実際に生駒山と箕面とをつなぐ試みを行った。2では、水、光、鏡、石を用いて嵐の大滝前でほぼ無観客の中でパフォーマンスを行った。今回はその続編であり、現在構想を思案中であるが光と影を用いる予定。



幼少の頃、臨床心理学者の父が自閉症子どもと研究室で転がり回っている姿を眺める。大阪大学文学部でガムランと出会いのめり込んで活動する。流れる水のように舞うジャワの舞踏家ベン・スハルト氏に出会い、自分のご先祖さまに会ったと確信する。その後、インドネシア芸術大学へ留学。帰国後、たんぼほの家の障害者との出会い以降、即興ダンスとマイノリティの人たちとのダンスに傾注。伝統舞踊におけるからだのありようを探求する中から「コラボ・即興・コミュニケーション」に関わるプロジェクトを展開。

最近の活動に、
振付作品「PATINA」(2018) OzAsia Festival Adelaide招聘
演出作品「だんだんたんぼに夜明かしカエル」(2019)
映像作品ディレクション「Teletari Odottari」(2021) Jakarta International Contemporary Dance Festival招聘
野村誠と砂連尾理との問題行動トリオin十和田市現代美術館 (2021-2022)
共著「ソーシャルアート 障害のある人とアートで社会を変える」(学芸出版社)
大阪大学、名古屋学芸大学、追手門学院大学、立命館大学非常勤講師。
HP <https://shinsakuma.jimdofree.com>

「形なき存在・Formless Being」¹⁵
Mystic Trio ミスティックトリオ (クリストファー・フライマン、東條やすこ、南 遊)

開催日時: 11/30(日) 13:30~/15:00~ (2回)



音を手にとることはできず、触ることもできない。耳から聴こえる、もしくは振動を感じる、そして確かに目の前で生まれて、一瞬のうちに過ぎ去ってゆく存在。

即興音楽であり言葉もない
ミスティックトリオの音は、それでも、ストーリーを、音像を聴く人の心の中につくってゆく。

悠久の歴史と伝統への敬意と箕面の自然に影響されてどんな音像が生まれるのか・・・体感しに来てください。

即興でありながら調和した音像を創り上げ、演奏を通してストーリー、景色が聴こえるインプロトリオ。楽器は、トランペット、ヴォイス、ゴング、パーカッション、シンギングボウル等の異色の組合せ。メンバーそれぞれが自身の楽器、響き、音色にこだわりを持ち、独自の世界観を繰り広げる。

2023年1月結成。画家 松原昭俊氏、舞踏家 桂助氏とのコラボレーション(京セラ美術館)、武田尾 Tunnel Art Event 等に出演。他、ギャラリーやライブハウスでもパフォーマンスを重ねている。



瀧安寺特別拝観



平成30年の台風21号の被害を受けての周辺整備、本坊再建、さらには堂宇を永代に護持してゆくため、客殿と鳳凰閣の一般拝観を今秋開催致します。

客殿は12の部屋から成り、その敷居には襖絵が置かれています。また当寺は宝くじ発祥の地であり、江戸期に流行した富くじを紹介するブースも設けています。襖絵を見せるため、室内の照明は蛍光灯からLEDに全て変えました。また120枚ある畳も全て入れ替え、清潔感のある佇まいとなっております。

鳳凰閣には中心に役行者尊の御影を安置しており、そこから修験道そして山伏の文化をより多くの方に知っていただくよう工夫したいと考えています。

こうした拝観の取り組みが当寺の発展だけではなく、修験道の隆盛、地域の活性化につながるよう、知恵を絞ってまいりたいと思います。



客殿 大玄関



客殿 (圓滿殿)

西暦1699年(江戸期元禄12年)に行われた開祖役行者の1千年御遠忌法要に際し、全国から集まる修験者を迎えるため、台風災害で撤去された本坊と、一体で建築された。12の部屋から成り、その敷居には襖絵が置かれた襖絵は後宇多天皇の御門画史(皇族専属の画史のこと)であった蘭皋斎玉寶の筆とされている。狩野派の画史といわれるが詳細は不明。ただし後宇多天皇は鎌倉期の天皇であり、客殿建築とは500年以上の差が開いてしまう。明治期の修験道廃止令により、瀧安寺史の伝承は途絶え、謎のまま残ってしまったが、後宇多天皇の第二皇子である後醍醐天皇と瀧安寺には法縁があり、一概に俗信とはいえない。

ぎよくざ 玉座

皇室関係者のみ上がることが許された間。客殿内で最も格式が高いため、一段高くなっている。毎年の恒例行事である七月七日の採燈大護摩供では、京都御所から天皇の勅使、またが遣わされ、この間にて訪問者と対座された。その際は簾が下され、直接拝顔することは叶わなかった。

竜虎の間

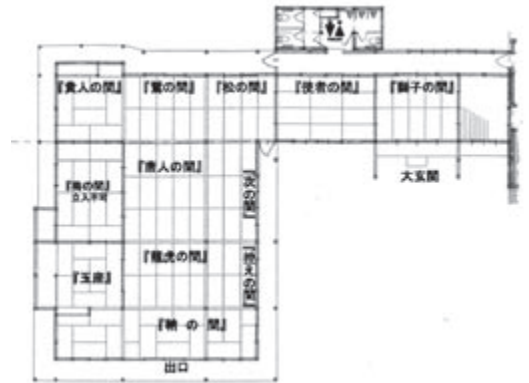
皇室関係者とこの間で面会をする。天子、君子、貴人といった高位の者の威厳と強さを表現するため、天の竜と地の虎が用いられた。訪問者は大玄関より使用者の間を経て、次の間、控の間からここに至るまでの間、約2時間を要したと言われる。ちなみにこの間、侍者は使用者の間に控える。

<右の壁画>

水墨画で作者不詳。湖または川辺の景色で、建物や舟が描かれているが、墨が剥落していて、とても不明瞭である。

唐人の間 襖絵

7世紀から9世紀にかけて存在した唐王朝の風景を描いた間。襖絵において中国の歴史上の女性を描く場合、仙女西王母か皇妃楊貴妃であることが多い。この絵は楊貴妃と思われる。美人で名高い楊貴妃が、政略結婚により異民族の国へ嫁ぐこととなる。その道中、物乞い(左下の2名)に酒団子を施している。従者の人相は漢民族ではなく、いかにも異民族風である。



竜虎の間 襖絵





鳳凰閣 (国登録有形文化財)

「関西建築界の父」ともいわれる日本を代表する建築家 武田五一の建築。切妻造・棧瓦葺、平屋建で、その北端に宝形造の楼閣をあげた形態で、平等院鳳凰堂翼廊の気分が表現されている。箕面山の中腹に位置し、石垣を高く築いた敷地に建ち、箕面川の溪流とともに優れた景観をつくりだしている。

内部には修験道の開祖、役行者尊の御影をお披露目し、鳳凰閣から見る箕面川の溪流や景観は格別。



武田五一

明治後期から昭和初期にかけて活躍し、「関西建築界の父」ともいわれる日本を代表する建築家。東京帝国大学卒業、ヨーロッパ留学で影響を受けたアール・ヌーヴォー、セセッション様式をいち早く日本に紹介、また教育者として、多くの建築家を輩出した。法隆寺や平等院の修復等、多くの文化財保護にも貢献した。

主な作品に国会議事堂、同志社女子大ジェームス館、京都市役所、大阪朝日新聞社などがある。



武田五一 (57歳)
建築家・設計家・建築家

本坊 (跡)

寛政年間の役行者尊御遠忌の際、全国から集う山伏衆の受入れのため建てられ庫裡(寺の台所)として、これまで寺の行事を支えてきた。廊下を渡って客殿へと繋がっていたが、2018年の台風で失われ空き地となっている。

※2023年の箕面の森アートワークで、かまど跡に庫裡の再建を祈願して制作された郡 裕美作「EVOCATION」が現在建っている。

枯山水

昭和初期、箕面山の龍神信仰に基づいて考案された。

平成30年の台風21号による被害と令和の大修理

平成30年9月4日に通過した台風21号によって、鳳凰閣、客殿、本坊の三棟が被害を受けた。直後に建物の倒壊防止のための応急処置を行うと共に、地元の檀信徒だけでなく、全国の関係寺院様から励ましのお言葉を頂いた。

修理にあたり、重機を搬入するための斜路を設ける箇所は国定公園内の一級河川に面しており、また川底には天然のオオサンショウウオが住み着いており、工事による生態系の影響の心配もあり、すぐに許認可が下りず本格的な修繕工事にかかるのは翌年、令和元年3月に入ってからになった。

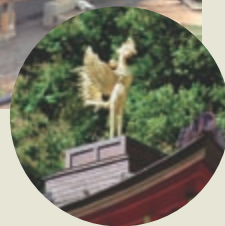
まず修復工事にあたり、唯一の動線である瑞雲橋を構造計算上7トンまで耐えうる形状に補強。重機の搬入路である斜路の石段を崩して新設する前段階の工事に約3ヶ月費した。

本格的な修復工事は、国有形文化財登録の鳳凰閣から着手。鳳凰閣の修復に関しては国から補助金が下り、年度内に修復を終える必要があり優先的に工事を進めた。

本坊に関しては大屋根に穴があいたまま10ヶ月が経ち、中はカビとヘドロに覆われ、無残で心が痛んだ。文化財未登録であり補助金も下りず、やむなく解体撤去に至った。

本坊の撤去後に再びこの度のような事が起きぬよう、今回倒れた木と同寸大の樹木を含め約20本、伐採。本坊の解体は8月下旬、樹木伐採は年内いっぱいまでかかった。

翌年2月中旬、鳳凰閣の修繕工事を終える。文化財のため現状復旧が原則だが、コンクリート基礎、構造壁等、現在の耐震基



準に則った修繕と、建立当初はあったという楼閣部の鳳凰を、災害からの復興のシンボルとして据え付けた。

客殿の修繕は困難を極めた。鳳凰閣同様壁と床を撤去し、躯体の状態から柱の根継ぎ、耐震補強、構造壁の設置等を施し、同時に付設している大玄関にも同等の施工を行った。

寛政年間に建てられた玄関は、非常に贅沢な造りで、広さも30畳はある。そこから廊下を渡って本坊へと繋がっていたが、本坊と廊下は撤去したため、繋ぎ目を構造壁で塞ぐ必要があった。軒下を設けなければ建築許可が下りないので、軒の分だけ屋根を少し延長する必要があるが、江戸期の屋根瓦のため、今の既製瓦と寸法が異なり、その部分の屋根は全てやりかえなければならず追加工事に頭を悩ませることになった。既存のトイレは撤去したため、山側にトイレを新設。こうした客殿関係に費やした時間は1年4ヶ月程となり、資金も底を尽き、周辺整備を残したまま、令和3年4月、約2年にわたる修繕工事を終えた。

箕面の森アートウォーク2025 瀧安寺プロジェクト開催に向けて



地域活性化を目的に過疎地、観光地で近年よく開催される芸術祭と異なり、箕面の森アートウォークは、現代アートの表現形態のひとつであるサイトスペシフィックアート(Site-Specific Art)を基本コンセプトとして、箕面滝道にて開催してきました。

サイトスペシフィックアートは、設置される環境や文化、歴史、そしてそこに関わる地域の人々の生活を反映した作品を指します。

過去10年間、そのコンセプトの基に、それぞれのテーマを設けてきました。

2013年「つながる視点」

2015年「はぐくむ視線、生まれる造形(かたち)」

2017年「古の箕面が映ろう造形(かたち)」

2020年「美神おわす霊山箕面に顕わる造形(かたち)」

それらの言葉に通底しているのは、「アーティスト」と「場」の特性(地理的、地勢的、文化的、歴史的な要素など)、「鑑賞者」との関係性において新たな表現を模索している点です。目指しているのは、この期間にこの場でしかできないというミニマルな条件下で、新たに「場」を顕在化し創造的な視点を提供することです。このことは、訪れた人々が「アーティスト」と「作品」、「場(箕面の森)」の関係性を理解する最も有効な手段であると言えるのではないのでしょうか。

前身

2009年 橋本亭まるごと美術館

2010年 瀧道まるごと美術館

2011年 箕面の森アートウォーク

2013年 実行委員会主催による箕面の森アートウォークのはじまり

これまでに開催された箕面の森アートウォーク



2013



2015



2017



2020



2023



ロゴマークは光の三原色図を基に、
"赤"はアーティスト、"緑"は箕面の森、
"青"はコミュニティを表している。
(デザイン: わにぶちみき 監修: 橋本修一)

皆様からのご支援とボランティアの方々の協力によって開催されるアートイベントです。

箕面の森アートウォークは、有志で構成された実行委員会メンバーとお手伝い頂けるボランティアの方々のご協力で開催されます。

メンバーは、箕面の森アートウォークの開催ごとに構成され、その職業も様々です。それぞれの個性や特技を生かして、ボランティア活動を基本に開催に向けて準備を進めてきました。

その内容はイベントの展示企画、交渉、運営、資金調達、管理、ガイドブックやチラシ、のぼり等のデザイン、設営等多岐にわたります。

また、作品の管理、設営をはじめガイドブック印刷費等、開催運営に生ずる諸経費は助成金と皆様からご支援頂いた寄付金でまかなわれています。

「箕面の森アートウォーク2025 瀧安寺プロジェクト」開催にあたり、その主旨をご理解頂き、ご支援頂いた個人、並びに各企業の皆様、ボランティア参加頂ける皆様に厚く御礼申し上げます。

箕面の森アートウォーク2025 瀧安寺プロジェクト 実行委員会

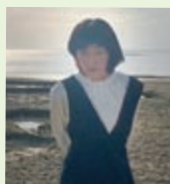
※実行委員はすべてボランティア活動を基本に構成されてその運営にあたります。

●総合プロデュース



中谷 徹

コンテンツ・アートギャラリー Zone

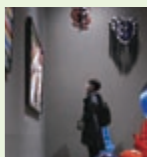


中谷 雅代



青井 崇

Art Gallery 待夢(TIME) マネージャー



王博文

Art Gallery 待夢(TIME) オーナー



兼平靖子

人材育成コンサルタント 弓弦(YUZURU)代表



岸本延子

シンガーソングライター・画家



児玉明美

アーティスト



中村翔太

空間デザイナー・写真家

●アートディレクション



橋本修一

グラフィックデザイナー CATBOX-X



橋本あやめ

イラストレーター CATBOX



李青雨

Library Think代表



吉岡 邑玲

ヴァイオリニスト・アナウンサー

ボランティア・協賛 その他 お問い合わせ

箕面の森アートウォーク実行委員会

連絡先 | m-artwalk@zone.tank.jp

コンテンツ・アートギャラリー 内

Phone 080-3106-3177

〒562-0043 大阪府箕面市桜井 2-10-5 阪急桜井市場



箕面の森アートウォーク2025 瀧安寺プロジェクト参加企画



「白龍のぼりプロジェクト」 白龍と瀧安寺をテーマにしたのぼりが、
滝道の店舗で訪れる皆さまを温かくお迎えます。

みのお瀧道本町会

みのお瀧道本町会は、瀧安寺ふもとの店舗会です。

箕面山の自然・歴史・文化、そしてアートを楽しむこの素晴らしいイベントに参加できることを嬉しく思います。

のぼりを掲げ、訪れる皆さまを温かくお迎えます。ぜひ散策を楽しんでください。

自然とアートの共演が織りなすひとときが、皆さまの心に響きますように。

みのお瀧道本町会 会長 高階 良昭

のぼりデザイン: 橋本修一
HASHIMOTO Shuichi



箕面の森アートウォーク作品集／記念グッズ

作品集 / 記録集

2017年の箕面の森アートウォークから制作している記録集。
各開催のテーマやコンセプトをはじめ、作品集としての完成度を目指し
臨場感ある写真と英語完全対訳で制作されている。



箕面の森アートウォーク2023
A4サイズ 36ページ



箕面の森アートウォーク2020
A4サイズ 44ページ



箕面の森アートウォーク2017
A4サイズ 44ページ

龍神の
クリアファイル

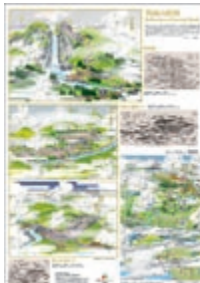
白龍と滝道風景が
デザインされている。

A4サイズ 両面印刷
2種類

箕面滝 (瀧安寺旧図) ポスター

江戸時代に描かれた「摂津名所図会」
高槻で紹介された図会を元に制作。

A2サイズ 両面印刷



箕面の森アートウォークは、箕面の自然と歴史、アートをつなぐ文化活動です。

この活動は、箕面の自然と人のつながりを育む「場」として、皆様の善意によって支えられています。ご支援は、未来への希望と文化の継承に向けた大切な一歩です。

ご支援のお願い(寄付金募集)

開催にあたり皆様の更なるご支援をお願いします。

- 【寄付金の種類】
- ・個人寄付:1口 2,000円
 - ・団体・企業寄付:1口 5,000円(バナー掲載あり)

●寄付者への感謝のしるし 以下よりお選び頂けます。

- (1) 作品集2017、2020のいずれか1冊
- (2) 記録集2023 1冊
- (3) 龍神のクリアファイル 2種類1組
- (4) ポスター 2枚

※記念品は感謝の気持ちとしてお渡しするものであり、寄付の対価ではありません。

団体・企業寄付の場合、希望に応じて住所・メールアドレス・QRコード等の情報も掲載しておりますが、これらの掲載は広告宣伝を目的としたものではなく、寄付者への感謝と情報共有のためのものです。

※2026年度以降は、寄付者一覧として「氏名・団体名のみ」の掲載に統一予定です。

税務上の取り扱いについて
本寄付金は、広告宣伝を目的としたものではなく、反対給付のない寄付金としての性質を有するため、消費税は課税されません。
掲載内容や記念品の贈呈は、感謝の意を表すものであり、対価性のあるサービス提供ではありません。

★詳しくは左記(10ページ)実行委員会まで
ご支援頂いた方のガイドブックの掲載は終了したため、
箕面の森アートウォーク2025公式ホームページの掲載のみになります。

ボランティアスタッフ募集

この秋、紅葉の瀧安寺で私たち実行委員や
参加アーティスト達と共に活動しませんか!
皆様の参加を心待ちにしています。

<主な内容>開催に向けての準備 / 開催期間中のサポート
搬入搬出のアーティストサポート、設営、会場の見回り、観客対応、
パフォーマンス開催時の誘導等。

★事前の説明会を予定しています。



<大阪府>

- 箕面市
- 尾上 克雄
- 加藤 里佳
- 木村 均
- 原田 健
- 村上 明良
- 山崎 治子
- 池田市
- 大山 千恵子
- 梶山 聡子
- 茨木市
- 佐々木 真理
- 大阪市
- すがやともこ
- 萩原 聡
- 福田 新之助
- 吹田市
- 川野 裕子
- 関 明美
- 豊中市
- 岩橋 正文

<兵庫県>

- 伊丹市
- 木原 真男
- 笹埜 能史
- 神戸市
- 浅田 雅子
- 東野 太
- 喫茶蛙や木琴
- 宝塚市
- 大山 絵美
- 竹村 雪子
- 藤木 世志子
- 柴田 知佳子
- 姫路市
- 小田 かおり
- <京都府>
- 乙訓郡大山崎町
- 仲摩 洋一
- 亀岡市
- 栗本 夏樹
- <滋賀県>
- 守山市
- 田中 麻子
- <カリフォルニア州 USA >
- サンディエゴ市
- Emiko Scudder

箕面の美味しいお土産揃ってます!
久國紅仙堂 Cobeni店
 箕面市箕面1-4-19 072-723-6283

もみじ 天ぶら 紅葉
 箕面公園 滝道 072-723-5525

みのお瀧道本町会

創作beerカフェ
美たみん屋
 桜井市場内

染色小田桐工房
 小田桐ケイタイ
 090-4618-3475

雑貨店 カルム
calme
https://www.instagram.com/calme_takarazuka/

morinn
www.facebook.com/morinn

楓 Kaede Gallery
 木と風に見えるギャラリー
 大阪市中央区上本町西1-4-20
 T/F 06-6761-0388 (〒542-0062)
<http://www.7a.biglobe.ne.jp/~kaede-g/>

子ども美術教室
アトリエDADA
 箕面市桜井2-10-5 桜井市場内
 アトリエDADAで検索

植田 朋子
 着物リメイク & ブアレンジ
 着物リメイク教室

MAO MAO レコード喫茶
 猫猫

梶山尚星 句集
「牽牛」
 発行所 七星俳句会

まちの小さな雑貨市 2025.11.1.2.3
 ハンドメイド・アートイベント
あなたと私の芸術祭 (入場無料)

個の力が組織を育む。強みが響き合い「めぐり」がめぐる。
弓弦-YUZURU-が伴走する
一人ひとりとチームの力を活かすしくみづくり
 人材育成コンサルタント-弓弦-YUZURU-
 兼平 靖子 kanehira@yuzurucoach.com

珈琲・手描きうつわ
博楽
 OPEN 11:00~18:00
 CLOSE 水・木・祝
 箕面市箕面1丁目8-28
 Tel.072-721-8033

Gallery Contemporary Art
H.O.T
 Gallery H.O.T
 Contemporary Art
 大阪市北区西天満3-6-3 西天満瑞穂ビルディング1F Tel: 06-6363-2536

星光 〒530-0047
 KO GALLERY 大阪市北区西天満
画廊 5-8-15
 八千代ビル別館1F web QR

ヒロ忠之
 Tada yukiHiro 多田幸浩

小原 昭子 2025.11.10
 2025.11.17
 2025.11.24

スーパーエポック時代の地球を可視化
ゆげ
 ムックきのクラブ
 なつきじろう
 夢みるきのこ
<https://plaza.rakuten.co.jp/madaranov>

[HTTPS://YURINOM.COM](https://yurinom.com)

菅谷 知子

住宅の新築・リフォームなら
柴田住研株式会社
 池田市八王寺1-2-7 / ☎072-752-5656

Nobuko Kishimoto
 singer painter photographer Nara Japan
<https://sunshinecityrecords.sneboand.com>

ステイショナリー
かどや商会
 浜本 優・浜本昭子

奥田美紀
 ONO, MICHIKO

URZUPUNK
 カリーバンク
 箕面市桜井2-4-5 サンティエ桜井2F

児玉明美 ABSTRACT-ART
 ARTブログはじめました

千露利 職人系茶房
 KEICHA SANO (CHIRORI)
 桜井市場内

福田新之助

ヒビアめぶアニメ教室
 初心者向けアニメ制作教室 飯島流布社 原宿すくヒビアめぶ5F

オリジナルのガラスアート
株式会社 Jiku Art Creation
 Jiku Art Creation Gallery
 〒562-0003 大阪府箕面市西小路3丁目2-14 102

ゼンタングル認定講師
はぎわらえり



TOMIICHIGO

Printing・Publishing
有限会社 クリック

店頭POP
トレー・ハンガー・フラッグ 等

パッケージ
化粧品・ケーキ・和菓子・紙袋 等

印刷全般
カタログ・会社案内・伝票・名刺・はがき
デザインカード・フライヤー・案内状 等

出版：(雅書房)
自費出版・作品集 等

印刷の事なら何でもお気軽にご相談ください。

担当 壇雅芳 〒531-0063 大阪市北区長柄東2-3-29-205
06-6949-8550 Fax.06-6948-8157
E-mail: click.win@mbi.nifty.com

Hand made Event
まちの小さな雑貨市
×
Art Event
あなたと私の芸術祭

2025.11/1土・2日・3月祝
11:00 ▶ 17:00 (最終日は16:00まで)

ガラポン抽選会 & スタンブラリー 開催予定!

関西電力グループ power with heart

会場 大阪ベイタワー 2F
アトリウム広場

アクセス JR大阪環状線・大阪メトロ中央線
「弁天町」駅直結

入場無料

ガラポン引換券
おひとり様1回限り
当日、事務局ブースに本券をお持ちください。

詳しくはこちらをチェック

関電サービス株式会社 「まちの小さな雑貨市」「あなたと私の芸術祭」実行委員会 【お問い合わせ先】TEL.06-4965-0109

健康倶楽部100ジム

シニア専用の
フィットネスクラブ
無料体験
見学受付中!

↑詳細はこちら↑

〒562-0001 箕面市箕面5-11-4プラティアビル4F
☎ 072-734-8884
営業時間 9:00~18:00 定休日 水・日曜・祝日

箕面郵便局の前の白いビル4F
バス停「箕面警察前」徒歩2分

こんな方に支持されてます

- ・家にこもりがちな方
- ・話す機会が少ない方
- ・介護施設に入りたくない方
- ・運動が継続できない方
- ・体力・筋力をつけたい方
- ・関節等に痛みがある方

株式会社 徳岡工務店

有限会社 荒木造園土木

〒666-0004 川西市萩原1-17-10
電話 072-758-0858



箕面山 瀧安寺

～日本最古の弁財天～
～宝くじ発祥の地～

〒562-0002
箕面市箕面公園2-23



箕面伝統銘菓
もみじの天ぷら
<http://www.hisakuni.net>

久國紅仙堂

箕面市箕面 1-1-40
TEL 072-721-2747

滝道を歩いて
駅より3軒目

国内展示 / 海外展示
海外サポート
ギャラリーレンタル
作品委託販売
作品撮影

Art Gallery 待夢
TIME

阪急桜井駅から徒歩約3分

宝塚現代美術てんてん

2025 10/31金 ▶ 11/9日

友金アパート & ソリオテラス

橋本修一 & CATBOX 作品展示
橋本あやめ

乙女たちのタイムトラベル
T・K・A・R・A・Z・U・K・A

catbox-x.com

レトロな「市場」の中のギャラリーが「世界のアート」への入口です。
We'll fly to the world art scene from the gallery in the marketplace.

コンテンツボラリーアートギャラリーZoneは、桜井市場の中にあります。
通路に面する壁が無いので、お買い物やカフェの利用で通りかかったお客様も自由に鑑賞されています。生活空間とアート空間の境界線が無く、現代アートをより身近に感じることができるギャラリーです。
絵画、立体、インスタレーション、パフォーマンスなど、ジャンルを問わず、私たちの眼にかなった作品を紹介しています。
また、アメリカ・カリフォルニア州サンディエゴにも拠点を持ち、日本のアートを紹介しています。

コンテンツボラリーアートギャラリー Zone 中谷徹、中谷雅代

www.artgallery-zone.com

大阪府箕面市桜井2-10-5 <阪急桜井駅(桜井市場内)> phone 080-3106-3177
San Diego Office: 7791 Acama St. San Diego, CA 92126 phone (USA) : 1-858-547-9250



Contemporary Art Meets Traditional Japanese

Ryuanji Project

Period: 11/15 (Sat) - 11/30 (Sun)
Hours: 10:30 AM - 4:00 PM
Closed: 11/17 (Mon) and 11/25 (Tue)



Hououkaku pavilion



Kyakuden (guest house)



"Living in Harmony with Nature: Fire, Water, Earth, Wind, and Sky"

This autumn, we will stage an exhibition of art works and performances at Ryuanji Temple, themed around the natural environment, history, and culture of Mt. Minoh. We look forward to sharing the experience and excitement with all our visitors.



by OHNISHI Osamu 1 and OHNISHI Masako

by MINAMI Yuutaro 2

Admission fee is required to enter this area.
Please purchase a ticket at **INFORMATION** window by Sanmon gate.
Admission Fee: ¥ 500

Performances



NIGO Miyuu
15.nov.2025

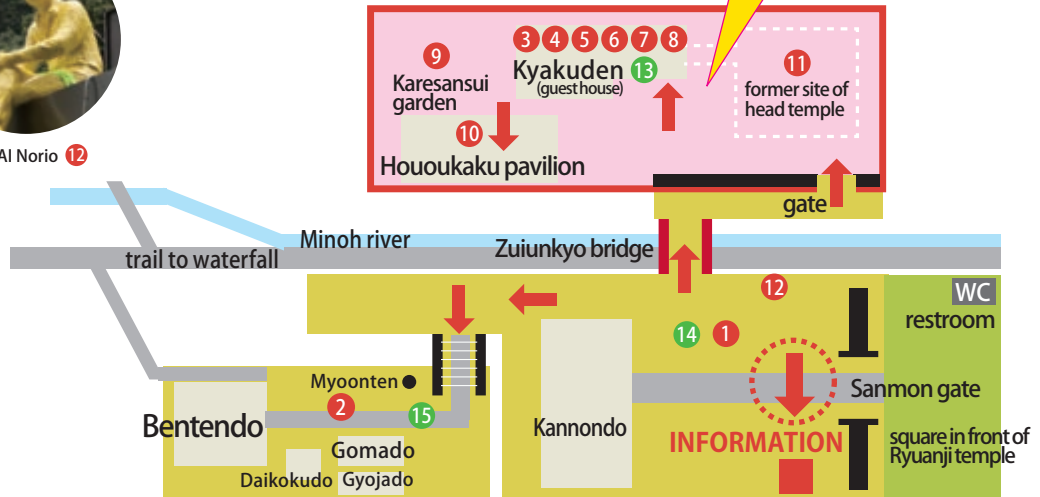
YOSHIOKA Yuri 13
15.nov.2025
19.nov.2025
13:00~/15:00~

by IMAI Norio 12

SAKUMA Shin 14
27.nov.2025
13:00~

Mystic Trio 15
30.nov.2025
13:30~/15:00~

Ryuanji Temple



レトロな魅力いっぱいの桜井市場の中にあるレンタルギャラリーです。
トライアングルという名前には、アーティスト、お客様、地域の三者のつながりを大事にしたいという願いが込められています。
トライアングルギャラリーは、展示を希望する方はどなたでもご利用できます。個展、グループ展、イベント等、アイデア次第で幅広くご利用いただける表現の場を提供いたします。

場所 大阪府箕面市桜井2-10-5 <阪急桜井駅(桜井市場内)>
時間 12:00~18:00 木、金曜日休み
料金 ●1週間 40,000円 ●2週間 70,000円
※1週間は土曜日~水曜日の5日単位(搬入は木曜日が金曜日)
販売手数料 売上の30%を手数料としていただきます。
※詳細はご相談ください。

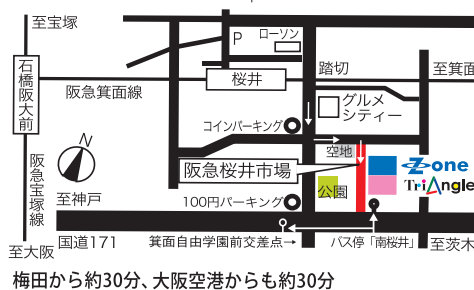
レンタルスペース

TriAngle Gallery
トライアングルギャラリー

お問い合わせ、申し込みは
コンテンポラリーアートギャラリー **zone**
Phone. 080-3106-3177

http://www.artgallery-zone.com/
〒562-0043 大阪府箕面市桜井2-10-5

阪急桜井駅
桜井市場内





自然との共生

秋気澄む箕面訪れ覚ゆもの

天上ヶ岳

箕面大滝

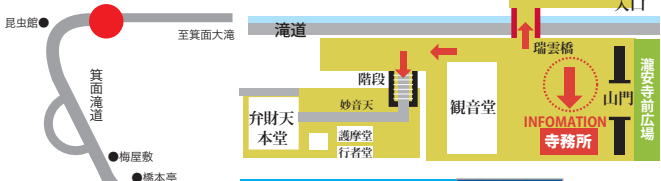
箕面山 瀧安寺



寺務所 Information
特別拝観受付

箕面山 瀧安寺

箕面駅から徒歩約15分



みのお瀧道本町会



白龍のぼりプロジェクト
白龍と瀧安寺をテーマにした
のぼりが並びます

アート展示

- 観音堂前境内 ① 大西治 + 大西雅子 妙音天横 ② 南遊
客殿 ③ 岡本光博 ④ 栗本夏樹 ⑤ 柴田知佳子
⑥ 田中広幸 ⑦ 浜本隆司 ⑧ 山口良臣
枯山水 ⑨ 一色智登世 鳳凰閣 ⑩ 郡裕美

プロジェクト

- 本坊跡 ⑪ 郡裕美 観音堂前境内 ⑫ 今井祝雄 (後見人)

パフォーマンス

- 客殿 ⑬ 吉岡邑玲 + 兒子美裕 (11/15のみ) 11/15(土)・19(水) 13:00~15:00~
観音堂前 ⑭ 佐久間新 11/27(木) 13:00~
妙音天横 ⑮ Mystic Trio 11/30(日) 13:30~15:00~

瀧安寺プロジェクトは
秋の特別拝観と併せての開催です。
**特別拝観会場へは
寺務所にて拝観券をご購入下さい。**
一般…500円 / 小中高生…300円
※小学生未満は無料。
※団体割引、障害者割引はございません。
※拝観料は台風被害の修繕費用に充てさせていただきます。
※拝観料は台風被害の修繕費用に充てさせていただきます。(平成30年 台風21号)